

引用して書く（出典の示し方）

つかえる国語 三年

ーまい目 きそ

言葉のきまりをたしかめる

1 2 3 4 めやす10分

名前

1 ⑦・①にあてはまる記号を書きましよう。

本の文をそのまま書くときは、前後に⑦①をつけます。

⑦

①

2 本の言葉をそのまま使って書くとき、正しい書き方はどれですか。

ア そのまま書く（「」なし）

イ 「」をつけて書く

ウ 「」の中を書きかえる

エ なんとなく書く

答え

3 書きぬいて引用するとき、気をつけることを二つえらびましよう。

ア そのまま書き写す

イ 自分の考えも「」に入れる

ウ 文の前後に「」をつける

エ 本にないことをつけたす

答え

答え

4 自分の言葉で書き直した文はどれですか。

【本】せんたく板には、みぞがある。

ア 「せんたく板には、みぞがある。」

イ せんたく板には、みぞがついている。

ウ べんりな道具だと思う。

エ みぞがある、と本にあった。

答え

引用して書く（出典の示し方）

つかえる国語 三年

2まい目 よみとる

文章と資料から読み取る

1 2 3 4 めやす15分

名前

みのりさんは、図書室の本を使って、せんたく板について

調べています。次の【本のページ】と【調べたメモ】、

【出典メモ】を見て答えましょう。

【本のページ】

①せんたく板は、木でできた四角い板に、
細長いみぞをきざんだ道具です。

②おかしの人は、たらいに水とせんざいを入れ、
せんたく板の上で服をこすってよごれを落と
していました。

③でんきせんたくきが広まったのは、
昭和三十年ごろからだと言われています。

【出典メモ】

本の名前：『道具の
うつりかわり ずかん』

出版社：みどり文化社

【調べたメモ】

◎ 「せんたく板は、木でできた
四角い板に、細長いみぞを
きざんだ道具です。」

○ たらいと水とせんざいを
使って、手でこすって洗っていた

・

でんきせんたくきは昭和三十年ご
ろから広まった

◎＝本の文をそのまま ○・＝自分の
言葉でまとめた

1 この本には、どんな道具について

書かれていますか。【本のページ】から五字で書き
ぬきましょう。

2

【調べたメモ】の◎の部分は、【本のページ】
の①～③のどの文をそのまま書きぬいたものですか。
番号を書きましょう。

答え

3

【出典メモ】に足りないものを、ア～エから
二つえらびましょう。

ア 本の名前

イ 書いた人

ウ 出版社

エ 調べた日

答え

答え

4

調べたことを書くときに、出典を書く理由と
して、もっとも合うものはどれですか。ア～エから
一つえらびましょう。

ア どの本を見て調べたかを、

読む人が確かめられるようにするため。

イ 文章を長くするため。

ウ 本のねだんを知らせるため。

エ 自分の考えを目立たせるため。

答え

引用して書く（出典の示し方）

つかえる国語 三年

3まい目 かんがえる

くらべて筋道を立てる

1 2 3 4 めやす15分

名前

みのりさんの【報告文の下書き】と、先生の【メモ】を読んで答えましょう。

【報告文の下書き】

- ① せんたく板は、木でできた四角い板に、細長いみぞをきざんだ道具です。
- ② おかしの人は、たらいと水とせんざいを使って、手でこすって服を洗っていました。
- ③ 調べたことをつたえます。

【先生からのメモ】

○ 分かりやすくまとまっています。

▲ ①は、本の言葉をそのまま使っています。書き方を見直しましょう。

1 【メモ】が「見直しましょう」と

言っているのは、①③のどのだんらくですか。番号で答えましょう。

答え

2 ①を、正しく引用する書き方に直すと

どうなりますか。一つえらびましょう。

ア 「」をつけ、出典を書きそえる

イ 「」をつけず、感想を足す

ウ 「」も出典もつけない

エ 「」をつけるが、言葉を変え

答え

3 ①を正しく引用するために、付けたすよいものを二つえらびましょう。

ア 「

イ 自分の感想

ウ 本の出典

エ 絵や写真

答え

答え

4 ア・イにあてはまる言葉を書きましょう。

考え方のとちゅう ①は、本の言葉をそのまま使っています。アをつけないと、まるでイが考えた文に見えます。

ア

イ

